

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エディオン亀岡店 新築工事	階数	地上1F
建設地	京都市亀岡市大井町南部土地区44	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	766 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2019年4月1日
敷地面積	9,229 m ²	作成者	林 仁
建築面積	3,184 m ²	確認日	2019年9月9日
延床面積	3,134 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 福祉、近隣住環境に配慮し、利用者、従業員にとって快適に使用できる施設にした。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 吸音、化学物質発生に対する配慮を行った。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 発電機を設置し不測の事態に備える配慮をした。
Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 標準的な配慮を行った。	LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 太陽光発電システムを設け自然エネルギーの活用へ配慮した。
LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 内装建材にF★★★★を使用した。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 緑地を計画し、近隣環境にたいして配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される